

【一】 次の文章は、NHKのディレクター、プロデューサーだった女性が、父親と自分自身ががんになった体験を書いた記録の一部である。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権法の規定により、文章は公開いたしません。

問一 傍線部1「ビョウトウ」2「ホンソウ」3「ソンチョウ」4「ホウモン」5「脅かして」について、カタカナを漢字に直し、漢字はその読みを書きなさい。

問二 二重傍線部a「浮かない顔」とは、どういう表情か、次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 心配そうな表情
- イ 不愉快そうな表情
- ウ 苦しく悲しそうな表情
- エ 納得できず、不満そうな表情
- オ 心が晴れやかでなさそうな表情

問三 二重線部 b 「もつと新しい、もつと別の道を探すべきではなかったのか」とあるが、「道」とは何の比喩か、本文中の語で答えなさい。

問四 二重線部 c 「客観的」の対義語を答えなさい。

問五 空欄 A を補うのに、もつとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア 生きていたかったのだ

イ 治ると思っていたのだ

ウ 死んでしまいたかったのだ

エ 病気を受け入れていたのだ

オ 生きることをあきらめていたのだ

問六 空欄 1、3 を補うのに、もつとも適当なものを、それぞれ次の中から選んで、記号で答えなさい。

1 ア しかし イ むしろ ウ やはり エ あるいは オ だから

問七 二重線部 d 「がんになったからといって死ぬわけではない」にたいして、筆者が思っていることとして適当なものはどれか、一つ選んで記号で答えなさい。

ア がんイコール死ではないので、皆で支えあって生きてゆきたい。

イ がんの種類によって生存率も違うので、気休めを言わないでほしい。

ウ がんになった人がすべて死ぬわけではないので、自分も強く生きていこう。

エ がんイコール死ではないにしても、がん患者にとっては念頭から消えることはない。

才 明滅して危険を知らせる赤いランプのように、危険が身近に迫ることも遠ざかることもある。

問八 よくあるがん患者へのメッセージの二つめは何か、本文中から十一字で抜き出さない。

問九 前問のメッセージに対して、筆者が思っていることを三十字以上、四十字以内で答えなさい。

【一】 次の文章は、【二】の文章を書いた筆者を患者として、治療に当たった外科医の記録の一部である。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権法の規定により、文章は公開いたしません。

問一 傍線部1「コドク」 2「ヨクヨウ」 3「キヨ」 4「ケイゾク」 5「コクフク」を漢字に直さない。

問二 空欄1～4を補うのに、もっとも適当なものを、それぞれ次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア ときどき    イ きちんと    ウ なかなか    エ ひたすら

問三 二重傍線部 a「不条理性」 b「おこがましい」 c「生きとし生けるもの」の意味としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

い。

a ア 常識はずれなさま

イ 道理に合わないさま

ウ へ理屈をこねるようす

エ 条里制の制度に外れること

オ 人生に何の意義も見いだせないようす

b ア ばかっているようす

イ 恩着せがましいようす

ウ 厚かましくずうずうしいさま

エ 自分自身はずかしいと思うさま

オ 身の程をわきまえず、差し出がましいさま

c ア この世に生きているすべてのもの

イ 一生懸命に生きようとしているもの

ウ 生命のあるものも生命のないものもすべてのもの

エ 今生きているものだけでなく、かつて生きていたすべてのもの

オ 今生きているものだけでなくこれから生まれてくるすべてのもの

問四

【一】と【二】の文章とから読み取れる、医療者と患者との関係のあるべきすがたとは、どのようなものか。四〇字以上五〇字以内で述べなさい。